新年のあいさつ

和水町長　髙巣 泰廣

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春をご家族お揃いでお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。

また、平素より町政に対しまして、温かいご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

年頭に当たり謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年を振り返りますと、一昨年12月に発生した新型コロナウィルス感染症が猛威を振るい世界的な混乱を招きました。日本におきましても昨年1月に感染者が確認されてから急激に広がり、各所へ緊急事態宣言が発表され、解除後の現在もなお厳しい状況下に変わりはありません。それを受け、町では古墳祭や金栗四三翁マラソン大会などの行事の中止を余儀なくされています。

また、経済的にも大きな影響が出ており、町内事業者の方々におかれましては、大変な御苦労を強いられた年になったとお察しいたします。このような状況の中にあって、町といたしましてもさまざまな支援事業を講じてまいりましたが、引き続き支援体制の充実に努めてまいります。町民の皆さまにおかれましては、身体的距離の確保やマスクの着用、手洗い・うがいの徹底はもとより、3つの密の回避などの感染対策に一層取り組んでいただきますようお願い申し上げます。

また、昨年は7月の豪雨による災害が発生いたしました。7月3日・4日に、熊本県南部で猛烈な大雨が降り大変な被害を受け、人命に関わる被害も発生いたしました。豪雨の犠牲となられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被害に遭われた多くの方々にお見舞いを申し上げ、一刻も早い復旧復興を祈念しております。

また、7月6日から8日にかけて熊本県の北部地域におきましても、猛烈な大雨が降り、和水町でも多くの被害が発生しました。当町におきましては、幸い人命に関わる被害は出ておりませんが、多くの被害が発生しております。

状況と致しましては、農林振興課の管轄におきまして、山林・作業道・林道の崩壊など、建設課の管轄において、河川災害・道路災害・農業災害・小災害、併せておよそ460件、合計で約11億円の被害が出ております。その他県道、県河川でも多数の大きな被害が発生しております。9月から国の災害査定を受け、12月4日に全ての査定が完了しており、今後は早期復旧に向け努力してまいります。

さて、2021年は東京オリンピックの年であります。今回の東京オリンピックでは聖火リレーが和水町を通る予定となっており、当町を広くアピールできる絶好の機会ですので、全力で取り組んでまいります。

また、和水町出身のバドミントンプレーヤー「廣田彩花選手」の東京オリンピック出場が確実な状況でございます。バドミントン競技は、7月24日から8月2日までの10日間開催されます。廣田選手は世界ランク上位に入っており、町民一丸となり町をあげて応援したいと思っております。

町政に関しましては、長年の懸念事項でありました菊水地区の小学校統合については、昨年4月から菊水小学校として開校を迎えることができました。それに伴った学校跡地の活用については、三加和地区の学校跡地と併せ、企業誘致を進めております。学校跡地活用事業や移住定住促進事業などを推進し、昨今の人口減少問題や町内雇用の確保に努めてまいる所存でございます。

結びに、昨年は多くの我慢が強いられた年となりました。その気持ちをバネにし、当町の将来像であります「笑顔輝き　魅力あふれる和水町」の実現に向け、町民の皆さまの声を町政に活かし、町議会をはじめ各種機関と連携をとりながら、町民が安心して暮らすことができるまちづくりの創造に邁進してまいります。

引き続き、町政に対するご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまの益々のご健勝とご多幸を祈念申し上げまして、年頭のあいさつとさせていただきます。

和水町議会　議長　蒲池 恭一

あけましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年が、平穏で実りある一年になりますことをご祈念申し上げます。

日頃より町議会に対し深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。年頭に当たり、町議会を代表いたしまして、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、日本でも感染拡大防止のためイベント・スポーツの自粛や学校の臨時休校、経済活動の縮小などの措置が実施されたほか、都市部などで更なる感染拡大の兆候が出てきたことから、政府により緊急事態宣言が発令されました。

飲食業・観光業ではその影響が顕著で、営業時間の短縮や休業をやむなくされ、倒産する会社も出て、国をはじめ各自治体は、さまざまな支援策を打ち出しこの難局に対応してきました。

本町においても、町のイベントや学校行事、地域の諸行事などが中止され、飲食業、観光業においては予約キャンセルや受注がないなど事業の継続に大変なご苦労をされております。感染症拡大防止へのブレーキと経済活性化へのアクセルの舵取りをいかに行っていくか難しい所です。

スポーツ界にも大きな影響がでました。昨年夏に開催が予定されていた東京オリンピックとパラリンピックが本年に延期されたほか、数多くの競技大会が開催できませんでした。大会出場を目標に大変な努力をしてこられた選手の方々の夢が奪われ、とても無念だったと思います。本町出身のバドミントン日本A代表の廣田彩花さんには、東京オリンピックへの出場と活躍を期待します。

昨年は、大きな自然災害もありました。令和2年7月豪雨は、大雨特別警報が出されるなど観測史上まれにみる雨量を記録し、県南では球磨川が氾濫して、人吉市などを中心に甚大な被害が発生し、犠牲者も多数出ました。本町においても、避難所4カ所を開設し、187世帯344人と多くの方が避難されました。河川や道路、農地、山林も被災し、約11億円の被害が発生しております。現在、復旧に向け取り組んでいるところです。

今、新型コロナウイルス感染症の猛威により、かつてない社会の転換期を迎えています。町議会として、住民の安全で安心な生活を守り、経済への打撃を最小限に食い止め、より良い暮らしを送ることができるよう皆で知恵を出し合い、この窮状を乗り切っていかなければならないと考えます。二元代表制の一翼を担う議会としての役割を十分果たせるよう全力で取り組んでまいりますので、今後とも住民の皆さまのご理解とご協力を賜ることをお願いしますとともに、皆さまのご健康とご多幸を祈念し年頭のごあいさつといたします。

和水町病院事業管理者　志垣 信行

新年あけましておめでとうございます。町民の皆さまも健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は一年中コロナ禍に翻弄され、良い年ではありませんでした。再び自然災害も発生し、熊本南部地区では水害で多くの方が亡くなられ、住む家を失った方々もたくさんいらっしゃいました。心からお悔やみ申し上げます。

1月に中国で新型コロナウイルス感染が発生したと報道された時は、これほど全世界に感染が広がるとは思ってもみませんでした。約100年前に世界中に広がったスペイン風邪（インフルエンザウイルス）とよく比べられますが、日本では当時の人口5，500万人のうち2，380万人に感染したとのことで、半数以上の方が罹患したことになります。死亡者数は38万8千人で感染者の1.6％でした。この原稿を書いている時点の日本でのコロナ感染症患者の死亡率もほぼ同じの1.4％です。これほど広がることはないと思いますが、油断せず注意しなければなりません。

有明地区ではコロナ感染のクラスターが数カ所で発生しており、今後も人が集まる施設では対策が必要です。特に抵抗力の弱い方がおられる病院や介護施設では頻回に消毒が行われ、面会謝絶や制限が行われています。家族に会えずに精神的に不安定になる患者さんもいらっしゃいますが、ワクチンが出回り感染が落ちつくまでもうしばらく辛抱をしていただかなければなりません。

病院では発熱した患者さんへの対応が大きく変わってきています。一般の患者さんとは別の時間、別の場所で診察するよう指導されています。町立病院では車の中に待機してもらうか、特設テントに待機してもらい、問診による診察が主となります。コロナ抗原検査もできますができる時間は限られているので、もし発熱や風邪症状で受診したい時はまず電話で連絡をお願いします。

昨年の町立病院のニュースとしては、3年がかりで行った空調設備の入れ替えが終わりました。老朽化していつ故障するか判らない状態でしたのでほっとしています。今回は各部屋に個別のエアコンを設置したので部屋ごとに温度設定ができます。暑すぎたり寒すぎたりせず快適に過ごしていただけると思います。今年も町民の皆さんが安心して利用できる町立病院を目指して頑張りたいと思っています。

今年の冬は寒いとのことです。寒さで体温が下がると免疫力が低下するので、コロナ対策の一つとして皆さんも暖かく過ごしてください。町民の皆さんが今年も健康で元気に過ごされることを祈念して、新年のごあいさつとさせていただきます。